



WATARIDORI
～渡り鳥～

ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中!
<https://tagawacir.wordpress.com/>

スマホ、携帯電話は
こちらから

QRコード➡



ドイツのお盆：Totensonntag

いよいよ寒くなってきましたね。私にと
って、秋は暖かいお茶を飲みながら、爽や
かな風に踊る葉っぱを眺める季節です。今
回は秋のドイツの祝日を紹介します。

ドイツには、11月にプロテスタント教会
を中心に定められている「Totensonntag
(トーテンゾンターク、死者の日曜日)」と
いう祝日があります。これは、毎年「アド
ベント(降臨節)」の一週間前の日曜日で、
本年は11月26日です。この日は、日本のお
盆のように家族でお墓参りに行き、亡くな
った親戚や友人の墓地に献花して、故人の
ことを思います。ドイツの墓地はとても広
く公園のようで、四季折々の花や樹木の香
り、新鮮な空気の中で、ベンチでゆったり

とくつろぐことができます。また、人生そ
のものを考えられる平和的な場所です。ド
イツの11月は霧が多く暗いので、寂しい気
分になりやすい月です。しかし「Toten-
sonntag」の次の日曜日からは、クリスマ
スの準備期間「アドベント」の始まりです。
クリスマスイルミネーションの輝きと白い
雪が街の風景だけではなく人々の気持ちも
明るくし、ドイツ人が大好きな冬のメイ
ンイベントの時期が始まります。

🇩🇪 今日の言葉 🇩🇪

Totensonntag (死者の日曜日)